麦

埼 玉 親 の 会 「 麦 」 発 行
2024 年6月29日 160 号

E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ:https://ld-mugi.sakura.ne.jp/

2024 年度を迎えて ～会長よりメッセージ

《 会 長 挨 拶 》

2023 年度総会で会則が改正され、それに伴い総会で承認された新理事達（旧役員）の互選によって、昨年度代表の私が、今年度の会長に就任させていただきました。代表も会長も、会則改正によって役職名が変わっただけで、職務に大差ございません。会員の皆様、昨年度に引き続き、よろしくお願いいたします。

昨今では、「麦」に限らず、各地親の会および様々な障害団体で、会員の減少が目立ちます。減少原因のひとつには、社会情勢や家庭環境の変化が挙げられますが、これらの変化に「麦」が追いつけず、運営および活動への工夫が足りなかったことも影響しているように、感じています。親の会として会員皆様のお子様を側面から支援するには何をすべきか考えつつ、会員皆様にとって魅力ある団体を目指して、取り組んでいく所存です。

さて、昨年度はコロナで断念していた施設見学会を再開し、今年度は事例勉強会やグループラインの導入など、新たな取り組みを行います。平日・土日開催や、会場・オンラインなど、会員が参加しやすいように様々な日程や方法で活動を計画しています。会員のニーズを探りながら、現状に合った活動を理事達と相談を重ねている次第です。会員のお話には、真摯に耳を傾けているつもりですが、言葉の行き違い等で誤解を生じさせてしまうことがあるかもしれません。私も理事達も人間で、完璧ではございません。些細な事でも構いませんので、お気付きの事があれば遠慮なくお知らせください。

会員皆様には活動へのご理解とお力添えの程、お願い申し上げます。　（H・Y）

★2023 年度第 35 回埼玉親の会「麦」総会

３月 10 日（日）10：30～　浦和コミュニティセンターIT 研修室にて
正会員限定　正会員 37 名中、出席７名、委任状 27 名、欠席３名

司会が総会出欠確認後、議長を選出し式次第に従って進められました。2023 年度活動報告と決算案、2024 年度予算案が資料のとおり承認されました。次に会則改定に至る経緯についての説明、旧会則と新会則の相違点の説明があり、資料のとおり承認されました。最後に新年度の理事選出を行い、閉会しました。

会員の皆さん、2023 年度の活動にご協力いただきありがとうございました。

2024 年度もよろしくお願いいたします。　（A・Y）

★ ３月交流会

３月 10 日（日）13：00～　浦和コミュニティセンターIT 研修室　会員限定　出席６名

３月 10 日　総会午後のおしゃべり会に参加しました。

参加者の中では私はすっかり年長者になってしまい、息子の年齢も高いので、もっぱら私は皆さんの話を聞く立場です。我が家の息子が学齢期だったころに比べると、支援も理解もずいぶん進んでいますが、やはり我が子のことをどのように理解してよいのか、困りごとに対してどのように対応してよいのか、悩みごとは私の頃と変わりません。でも、子どものことを「育てにくい子」「困った子」と決めつけないで、なんとか理解して心に寄り添うようにしているお母さんたちは素晴らしいと思いました。

おしゃべり会は気持ちを共感できる場です。おしゃべり会に参加して、悩んでいるのは私だけではないと、気持ちをすっきりさせましょう。　（C・N）

全体活動

講演会「発達特性の理解と対応～要因とサポート方法～」

講師：上原芳枝氏（リソースセンターone 代表理事、臨床発達心理士）
2/23（祝金）10:00～12:00　浦和コミュニティセンターIT 研修室ハイブリッド開催
出席　会場：会員４名、非会員４名、オンライン：会員１名、非会員 10 名　合計 19 名

臨床発達心理士であり、長年発達障害児の教育に携わっておられる上原芳枝先生の講演会が浦和で開催されました。

発達障害のある子は、簡単なことができなかったり、逃げる、攻撃（に見える行動）など、わざわざ叱られるような言動を繰り返してしまいます。すると保護者はできないことを繰り返し練習させたり、怒ったり、という行動をとりがちです。子どものためによかれと思ってしているわけですが、実は二次障害を引き起こしてしまうNG 対応がたくさんあります。大事なのは「不適切な言動を繰り返す子は、脳機能の準備がまだ整っていない」という脳機能の視点。この脳機能の視点をふまえて、まだできる力が備わっていない子どもにどう接すればよいかを具体的にお話いただきました。

自らの子育てを振り返ってみると、ＮＧ行動をたくさんしていたことに気づかされ反省しきりです。子育てをやり直すことはできませんが、環境刺激に敏感な子への対応やパニックを起こさせないための支援、ストレス耐性の育て方、保護者が心がけるとよいことなどは、これからの成長のサポートにも役立つと思えるものでした。

大事なのは「自ら前に進もうとする姿勢を育てること」。そのためには受け入れられている安心感、当たり前のことが当たり前にできる小さな達成感の蓄積が大事とのこと。「たった一人の味方を得たことのある子とそうでない子の将来は大きく違うものとなる」という言葉が印象的でした。

重いテーマでありながら、先生の終始明るくパワフルなお話ぶりにたくさんの元気をもらうことができました。「もっとお話を聞きたい！」と思える素敵な講演会でした。ありがとうございました。（M・N）

全体活動

４月全体おしゃべり会

4/２５（木）10：30～12：00
浦和コミュニティセンターIT 研修室＋オンライン
出席　会場：会員４名、非会員３名、オンライン：会員２名、非会員２名　合計１１名

４月のおしゃべり会は会場と Zoom を使ったオンラインの両方で、それぞれグループを作っての開催となりました。参加人数の都合で子の年齢別にグループを組むことが出来なかった為、会場では小学生から成人までと年齢の幅が広くなりました。不登校や就職後の困難などの話題が出ましたが、就労後の話をしていると時間が無くなって小学校の話をあまり掘り下げることが出来なかったなど、それぞれの問題にもう少し時間をかけて話ができれば良かったと思うところも有りました。それでも障害者手帳の必要性など共通する話題も有り、穏やかな雰囲気のうちに話をすることができて、あっという間に時間が過ぎてしまったという印象でした。私自身もそうでしたが、誰にも困難を相談できずに抱え込むことになりがちですので、他の人と話の出来る場の有ることを広く知ってもらえたと思います。（M・M）

全体活動

５月全体おしゃべり会

５/23（木）10:30～12:00　さいたま市生涯学習総合センター講座室３

出席　会員４名、非会員３名　　合計７名

大宮で開催されたおしゃべり会に参加しました。我が子は高校生ですが、今回は同じような年齢のお子さんを持つ保護者の方々とお話をすることができました。思春期は誰でも不安定になるものですが、特性のある子はより不安やストレスを感じやすく、時に深刻な状況に陥ってしまうこともあります。さらに進学や就職といった進路選択にも直面しなければならず、本人はもちろん支える保護者も大変です。

今回のおしゃべり会では、皆さんが学校や家庭で今抱えている問題や、大変な時期をどのように乗り越えたかなどを聞くことができました。お話を聞いていると本当に共感できる部分が多く、悩んでいるのは自分だけではないんだ、と励まされました。

子どもの年齢が上がってくると保護者同士で交流する機会も減り、悩みを家庭内で抱えがちです。今後もおしゃべり会でいろいろなお話ができたらと思います。（M・N）

発送活動

会場と時間：いずれも、さいたま市市民活動サポートセンター　ミーティングスペース　13:00～印刷製本封入

２月発送　2/23（金祝）

午前の講演会の後、役員３名（総会前なので旧役員）で発送物を印刷製本し、会員と関係先に郵送いたしました。機関紙は WEB 掲載するので、機関紙郵送は関係先の一部だけですが、２月は総会資料と総会委任状等の印刷郵送が会員人数分あり、できれば会員からお手伝いいただけると助かります。お忙しいとは思いますが、お時間に都合がつく会員がいたら、ご協力の程お願いいたします。　（H・Y）

４月臨時号発送　4/25（木）

おしゃべり会終了後、理事３名で機関紙臨時号の発送作業を行いました。臨時号は、役員氏名並びに連絡先・麦の口座番号など大切な情報が掲載されている事務連絡版です。個人情報保護のため、WEB 掲載やメール添付送信は行わず、会員宅へ郵送しています。ゴールデンウィーク直前の郵送となったため、会員宅への配達が少し遅れがちになり、申し訳ございませんでした。　（H・Y）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修

ひきこもりの方とそのご家族への対応～状況に変化が見られないケースを考える～

2/26（月）13:15～17:00 さいたま市子ども家庭総合センター会議室

さいたま市では、地域の支援者に対し、ひきこもりへの理解を深める研修を行っています。私は、ひきこもり対策連絡協議会委員およびさいたま市発達障害相談員の立場で、標記研修に参加いたしました。他には、介護・看護・社会福祉・自立支援・相談員・区役所職員などが参加していました。まず、ひきこもり相談センターから業務に関する説明があり、次に「ひきこもりの方への関わり方～医療現場の立場から～」というテーマで、白峰クリニックの富田俊之氏のご講演がございました。それから、ひきこもり当事者（30 代）の体験談があり、ご自身の抱えている葛藤を述べられました。最後に事例が紹介され、３つのグループに分かれてワークを行いました。グループワークでは、様々な職種による視点から、たくさんの解決策が提案されました。昨年度の研修ワークと比較すると、より具体的な支援策がグループ内で討議されたように感じました。

ひきこもり状況に改善の兆しが見えないと、家族や支援者は焦り、不安が大きくなります。しかし、ひきこもり状況に変化がなくても、本人の心情に変化があったかも知れません。関心を持って関りを続けることが、ひきこもり支援のポイントだと研修を通じて学びました。　（H・Y）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第３回さいたま市障害者政策委員会

3/14（木）ときわ会館・オンライン

さいたま市障害者政策委員会は、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての必要な事項の調査審議等を行うために設置されています。第 3 回目も zoom での参加が可能だったので、私は zoom で参加しました。

報告事項	①次期障害者総合支援計画について	②対応要領について
議題	①令和６年度予算案の概要について	②災害・防災について

報告事項の①次期障害者総合支援計画については、市民の意見を聞いて３年毎に見直されます。2024～2026年については、市のホームページに掲載されています。②対応要領については、「さいたま市職員における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を内閣府の対応要領を参考にして修正したということでした。

議題①の令和 6 年度予算案の概要については、令和 1 年に比べると福祉予算は 49%増加しているそうです。自立支援給付金が増加しており、障害のある人が増えているからということでした。障害のある人が増えているというより、障害と認められた人が増えているのではと個人的に思いました。

②災害、防災については障害を持つ人に障害の種類によってどういう具体的な支援が必要かこれからのことだと思いました。

市民の声を聞いて、さいたま市の障害福祉がよりいっそうよくなるように願います。　（C・N）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第２回さいたま市発達障害者支援地域協議会

3/12（火）午後　Zoom

さいたま市発達障害者支援地域協議会では、発達障害の関係者等が相互の連絡を図ることにより、本市における発達障害者の支援体制に関する課題について情報を共有しています。連携の緊密化を図るとともに、本市の実情に応じた体制の整備について協議しており、「麦」も家族会の立場で委員を委嘱されています。

議題（１）令和５年度発達障害児者及び家族等支援事業について・・・埼玉県と共に実施しているペアレント・メンターに関する事業の説明として　①ペアレント・メンターの新規養成とフォローアップ講座の実施　②ペアレント・メンターによる交流・相談等の実施と発達障害オンライン講座や交流会実施の状況

議題（2）療育センター「ひなぎく」の開設について・・・初診待ち期間の長期化の解消と地域偏在の解消を主な目途に、市内３か所目となる療育センターを 2/1 に岩槻区に開設。民間の医療機関や福祉サービス事業者と連携を図り、診療環境などにおいて社会資源の充実を目指すとのことです。

議題（3）その他・・・発達障害者支援センターの事業報告がありました。①相談支援の件数報告　②発達障害に関する普及啓発講座などの実施　③学生向けキャリア形成支援事業・発達障害者社会参加事業の実施状況。

さらに、さいたま市のホームページに掲載されている、発達障害児サービス提供事業所 MAP の説明がありました。市内に、130 か所ほどに増えた事業所の所在地等をわかりやすくするため、一覧表に加えて地図上に示したものが作られました。

↓　こちらのサイトから「発達障害児サービス提供事業所」一覧表と MAP をダウンロードできます。

https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/004/001/008/p099189.html　（M・K）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第３回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

3/18（月）　会場：さいたま市障害者総合支援センター

さいたま市発達障害者支援センターは、発達障害者への福祉の進展のため、発達障害者支援に携わる様々な機関からの委員による本協議会を設けており、「麦」も家族会として参画しています。

今回は療育センターひなぎくの新設と発達障害児サービス提供事業所 MAP（P4 下段のさいたま市発達障害者支援地域協議会記事参照）の説明、世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間（P７の記事参照）についての説明がありました。また、同センターの新規事業である「発達障害者地域支援マネジャーの配置」の説明もありました。発達障害者の地域における相談支援体制の強化を図るため、社会福祉法人等への業務委託により、主に市民に身近な関係機関（学校、支援機関等）において困難事例への助言や提案、支援技術の普及等を行います。2024 年度は２名で、５年程度をかけて人数を増やしていくそうです。支援者への適切なアドバイス等により、身近な機関での支援が充実していくことを願います。

さらに、発達障害啓発の一助にと、さいたま市内障害福祉施設にて当事者が作成した「さをり織」を各委員へご提供いただきました。お預かりした「さをり織」を、「麦」では例会で会場（浦和会場）に啓発展示しております。　（M・K）

ご提供いただいた「さをり織」

役員活動報告（埼玉県）

令和５年度第２回埼玉県発達障害者支援地域協議会

3／21（木）オンライン（Zoom）

埼玉県発達障害者支援地域協議会は、発達障害者及びその家族、学識経験者並びに医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の職員が、県内の発達障害児・者への支援体制に関する課題について情報を共有し、実情に応じた支援体制の整備を図る為に、平成 29 年に設置されました。「麦」は、JDDnet 埼玉（日本発達障害ネットワークの埼玉県組織）に所属しているので、家族会として協議会の委員を務めています。本協議会は年２回実施され、3／21（木）今年度第２回の協議会が開催され、出席いたしました。内容は下記の通りです。

報告（1）令和６年度の発達障害支援に係る事業の概要について

（2）「世界自閉症啓発デー2024」に係る啓発事業について

令和 5 年度の発達障害者支援に係る事業の概要と実績および令和 6 年度発達障害者支援に係る事業の概要についての取り組みの報告がございました。また、「世界自閉症啓発デー2024」に係る事業の埼玉県の啓発事業について説明（P７の記事参照）がございました。

議題　発達障害支援における「教育」と「福祉」の連携について

第１回の協議会での各委員からのご意見の報告、児童の厚生労働省の資料を基に児童発達支援についての改正点の説明、福祉側からの視点で川口市子育て相談課発達相談係から子ども発達相談センターの設置目的、設置理念、業務内容、大切にしていることについての報告がございました。

その後、出席委員が意見を述べ、私は「保護者との連携」「福祉と教育との連携」が重要で、充実してほしいことを求めました。本協議会により、支援が広がることを期待しています。　（A・Y）

役員活動報告（埼玉運輸支局）

令和５年度　移動等円滑化評価会議埼玉支局部会

2/22（木）14:00～16:00　レイボックホール集会室１

国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局では、埼玉県における移動等円滑化の進捗状況の把握・評価を行うため、関係行政機関および高齢者、障害者等、地方公共団体、施設設置管理者、その他の関係者で構成する標記部会を開催し、「麦」から代表が委員として出席いたしました。簡単に内容をご報告いたします。

出席者概要：障害者団体：６名、施設設置管理者：鉄道・バス・タクシー会社５名、
関連団体：バス・乗用自動車協会４名、地方公共団体：県と 16 市町から 25 名
他国土交通省６名と有識者（東洋大学名誉教授・会議座長）

（1）国におけるバリアフリーの取り組みについて・・・・・関東運輸局、関東地方整備局から報告
（2）自治体におけるバリアフリーの取り組みについて・・・さいたま市から報告
（3）意見交換・・・出席委員たちから一言ずつ

私は、発達障害の特性に配慮した交通機関や施設内の情報提供の工夫（色・書体・音等）、感覚過敏や多動、こだわりの強さによる移動時の支援について説明し、周囲へ理解を求めました。主催者である埼玉運輸支局の皆様、関係者およびご出席の皆様、当日はお世話になり、ありがとうございました。（H・Y）

その他の活動

さいたま市令和５年度発達障害に関する講演会

発達障害児に対する理解と支援～特別なニーズを持った子どもたちとともに～

3/9（土）　会場：与野本町コミュニティセンター
講師：前川　あさ美氏（東京女子大学教授）

さいたま市では、発達障害啓発週間（4/2～8）に合わせ、毎年この時期に講演会を開催しています。今回は、発達障害（児）の捉え方や支援の考え方などのお話を伺いました。

初めに、医学的にみれば障害がある人を障害者と言うのでしょうが、障害者とは環境（社会的障壁）との相互作用の中で生まれるのだと、説明がありました。また、発達障害の様々な「違いは間違いではない」、「自分らしく」生きられるよう「彼らに合わせる支援」を心掛け、自己肯定感を高められるよう接することが大切であると話されました。さらに、発達障害児のきょうだいや保護者の心情や心が健康である必要についてのお話もありました。最後に「子どもの人生の主人公は子ども。良かれと思って、私がやってあげるは NG」「本当の強さとは、助けてといえる力を持つこと」という言葉を私も忘れないようにしたいと強く思いました。

さいたま市におかれましては、毎年講演会をおこなっていただきありがとうございます。今後も発達障害への理解促進の場を提供してくださるようお願いいたします。（M・K）

「麦」からお知らせ

麦グループ LINE のご案内とご意見募集

今年度から、「麦」正会員を対象にグループ LINE を始めました。
子育ての愚痴やちょっとした連絡など、気軽に LINE でおしゃべりしてみませんか？
あまり難しく考えず、まずは試しにやってみて、会員同士仲良く交流しましょう。
また、「麦」では会員から活動に対する意見を随時募集しています。
こんな企画をしてほしい、この活動は改善してほしい等、ご希望がございましたらご連絡ください。

グループ LINE 問合せおよび活動へのご意見は「麦」事務局まで　mugi.saitama89@gmail.com

その他の活動

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間

JDDnet 埼玉「発達障害啓発週間」ポスター展示

4/2（火）～4/8（月）会場：コクーンシティ

4/2 は「世界自閉症啓発デー」、また 4/2～8 は「発達障害啓発週間」です。今年は昨年と同様、さいたま新都心駅近くの大型商業施設（コクーンシティ）内の一角にパネルを設置して、「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間」の案内や発達障害の説明、JDDnet 埼玉加盟団体の内「麦」を含めた 4 団体の紹介ポスターなどを展示しました。「麦」は会の紹介ポスターとリーフレット、４月と５月のおしゃべり会のチラシを展示しました。場所も昨年と同じで、目につきやすいエスカレーターのそばでした。終了後ポスター等を引き取りに伺うと、チラシはほぼなくなっていたので、 関心を持ってくださった方がいたことが分かり、人通りの多いところで展示ができてよかったと思いました。

昨年に引き続き展示会場の予約、展示と撤去の作業をすべて埼玉県発達障害総合支援センターが行ってくださいました。このたびは大変お世話になり、ありがとうございました。

（M・K）

発達障害啓発週間において、「麦」は上記掲載記事のようにポスター展示を行いましたが、埼玉県内では世界各地で行われているイベント「ブルーライトアップ」も実施されました。会員皆様も、この時期にブルーにライトアップされた施設を目にしたのではないでしょうか？

発達障害啓発週間の様々なイベントを通じて、多くの方々に発達障害をまず知っていただき、サポート体制が拡充されることを願っています。発達障害啓発週間にご協力いただきました埼玉県・さいたま市・春日部市・所沢市・狭山市・富士見市・施設管理関係各社等に深く感謝いたします。ありがとうございました。

カリヨンの樹と
さいたまスーパーアリーナ

さいたま市役所市民サロン桜の木

埼玉県内の主なイベント紹介

- 埼玉会館をブルーライトアップ
- 大宮ソニックシティビルをブルーライトアップ
- さいたまスーパーアリーナをブルーライトアップ
- 埼玉県立小児医療センター前広場　カリヨンの樹をブルーライトアップ
- コクーンシティにおいて発達障害啓発週間のパネル展示
- 春日部市内の古利根公園橋をブルーライトアップ
- 航空公園駅（所沢市）前の国産航空機 YS-11 をブルーライトアップ
- 狭山市民交流センターをブルーライトアップ
- 富士見市役所前交差点付近の都市宣言電光掲示板をブルーライトアップ
- さいたま市障害者総合支援センターをブルーライトアップ
- さいたま市役所市民サロン東側　桜の木の下をブルーライトアップ

他、民間イベントを含め、ご協力ありがとうございました。　（H・Y）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会 オンライン各会役員交流会

2/24（土）13:30～15:30　Zoom

「麦」が所属する全国 LD 親の会では、偶数月に各地親の会の役員同士が Zoom で交流できる場をもうけています。各会、都合のつく役員達が自由に参加し、情報交換しながら、活動や運営について話し合っています。2 月の交流会では、麦から代表が参加いたしました。当日の参加者は 23 名。参加者は小グループに分かれて、『新規会員を増やす方法』『講演会開催の入会効果』『会報発送方法』等について、意見交換いたしました。講演会については、「最近は無料のオンライン講演会が様々な組織から多数開催されるので、地域親の会レベルで有料講演会を開催しても、参加者が見込めない」という現状が伝えられました。講演会に非会員が申し込んできても、それは講演会目当てであり、入会に繋がらないという声もあり、各会共通の悩みだと痛感しました。他には、入会者の為の Zoom 相談会や、LINE グループによる情報交換など、オンラインを有効的に活用している会がありました。また、10 月から値上げされる郵便料金が、会報郵送代に影響があることも話し合いました。「麦」では WEB に機関紙を掲載していますが、会報を全て郵送している会にとっては、郵便料金値上げは厳しく、今後はメール送付が増えそうです。各会役員の話は、「麦」活動においてとても参考になりました。参加された皆様、情報交換どうもありがとうございました。　（H・Y）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会　関東・東北ブロック会議

3/16（土）13:00～15:00　Zoom

全国 LD 親の会では、全国を 5 つのブロックに分けて活動しており、「麦」が所属する関東・東北ブロックは 11 団体で構成されています。ブロック会議当日は全ての団体が参加、全国 LD 親の会理事長（大阪）・副理事長 2 名（愛知・神奈川）を含めて、参加者は 23 名でした。「麦」からは総会を終えて就任した理事 2 名（会長と会計）が参加いたしました。

初めに全国 LD 親の会の活動から、6 月の総会・研修会・公開フォーラムの概要と、GIGA スクール端末等の活用状況調査、読書バリアフリーの要望書等について、各会へ説明がございました。次に関東・東北ブロックの役員交代（評議員）を、各会が承認いたしました。最後に、各会から 2023 年 7 月～2024 年 1 月の活動報告がございました。全国 LD 親の会に所属していても、各会の活動は様々で地域色が表れています。各会の活動報告を参考に、「麦」の活動を見直していきたいと思いました。　（H・Y）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会からお知らせ

音声教材についてのオンライン無料学習会

日　時：7 月 14 日（日）10:00～11:30
内　容：東京大学先端科学技術研究センターから講師をお招きし、
　　読みに困難のある児童生徒がどのように音声教材を使用しているか等を学びます。
対象者：全国 LD 親の会の会員限定（「麦」会員は申込できます）
申込み：「麦」会員へ申込方法をメールで連絡済み。申込締切は 7 月 7 日（日）

※次回は、8 月 18 日（日）10:00～11:30　中学生・高校生本人向けの音声教材学習会
　対象者は全国 LD 親の会の会員（保護者）＋中学生・高校生の本人。詳細は「麦」会員へ別途連絡します。

「麦」活動報告（機関紙 2024 年２月 159 号報告以降）

＜会全体の活動＞会員参加行事

・総会
　3/10（日）　第 35 回総会　正会員限定　会場+オンライン　当日は会場参加者のみ
・全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
2/23（金・祝）　講演会「発達特性の理解と対応～要因とサポート方法～」　会場+オンライン
　3/10（日）　おしゃべり会　総会後会員限定　会場+オンライン　当日は会場参加者のみ
　4/25（木）　おしゃべり会　会場+オンライン　　当日は会場・オンラインどちらも参加あり
　5/23（木）　おしゃべり会　会場のみ

＜役員活動＞

・役員会→3 月総会後は理事会に名称変更（活動の報告、計画、相談、情報交換など）　全て Zoom 利用
　役員会 2/14（水）　理事会 4/4（木）、4/19（金）、5/17（金）
・機関紙発行および各種発送に関する活動
 2/23（金・祝）　機関紙 159 号発行、WEB 掲載　　機関紙及び総会資料等印刷・発送
　4/25（木）　機関紙臨時号発行、印刷・発送
・ホームページの更新
　2/23（金・祝）、3/31（日）、4/26（金）、5/26（日）
・要望書提出に関する活動
　5/14（火）会員連絡網で要望書の意見徴収　5/29（水）要望書検討会（Zoom）
・行政関連の行事
　2/22（木）　令和５年度移動等円滑化評価会議埼玉支局部会（会場開催）
　2/26（月）　令和５年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修（会場開催）
　3/5（火）　令和５年度第３回さいたま誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
　3/12（火）　令和５年度第２回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
　3/14（木）　令和５年度第３回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
　3/18（月）　令和５年度第３回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
　3/21（木）　令和５年度第２回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
　4/24（水）　さいたま市療育のあり方検討委員会報告書の説明（会場）
・その他
　3/9（土）　さいたま市講演会「発達障害児に対する理解と支援」（会場開催、一部オンライン）
4/2（火）～4/8（月）JDDnet 埼玉 発達障害啓発週間　さいたま新都心コクーンでポスター等の展示
　3/10（日）ポスター作成（総会・おしゃべり会終了後に大判プリント印刷）
　埼玉県発達障害総合支援センターへ　3/11（月）ポスター等持参、4/12（金）ポスター引取
　5/17（金）　「ココルポートカレッジ」から事業説明（Zoom）

＜全国 LD 親の会の行事＞

　2/24（土）　各会役員交流会（Zoom）
　3/16（土）　関東・東北ブロック会議（Zoom）

埼玉親の会「麦」主催

おしゃべり会＆見学会のご案内

午前は、発達障害の子どもを持つ保護者＆家族おしゃべり会。午後からは、施設見学会を実施いたします。対象者は「麦」会員ですが、午前のみ入会希望者のお試し参加を受付けます。参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

保護者＆家族おしゃべり会

日 時　7/29（月）10:30～12:00
受付 10:15～

場 所　さいたま市生涯学習総合センター学習室１
さいたま市大宮区桜木町 1-10-18
シーノ大宮センタープラザ 9F　JR 大宮駅西口徒歩５分
TEL048-643-5651　有料駐車場あり

参加費無料　定員 15 名　定員になり次第締め切り
入会希望者のお試し参加可

申込先
7/22（月）まで
午前午後　共通

埼玉親の会「麦」 WEB フォーム
https://forms.gle/pc7dc5wikFySaTL67

「麦」会員限定　施設見学会

日　時　7/29（月）13:30～14:30

見学場所　障がい者福祉サービス事業所（自立訓練）
ココルポートカレッジ大宮キャンパス
さいたま市大宮区桜木町 4-209
第３バーディートライビル６階

参加費無料　定員３名　定員になり次第締め切り
非会員参加不可

埼玉親の会「麦」とは・・・
LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD （自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。
1989 年発足。

問合せ先
埼玉親の会「麦」
https://ld-mugi.sakura.ne.jp/
mugi.saitama89@gmail.com
TEL　080-4125-6020

午前・午後どちらも 7/22（月）までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。
WEB フォームから申し込みできない方は、
メール　mugi.saitama89@gmail.com　　電 話　080-4125-6020
こちらにお問い合わせお願いします。３日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020（確認用）へ電話をお願いします。
参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」主催　８月例会

発達障害のある子の進路

発達障害のあるお子さんの進路には、
様々な学校や就労の形態があります。
お子さんの特性と希望に沿った進路を
選択するには、どうすればよいでしょうか？
先輩保護者の経験談を参考にしながら、
参加者と一緒に考えていきましょう。

定員 15 名　先着順

定員になり次第締め切り

申込先

埼玉親の会「麦」　WEB フォーム

https://forms.gle/EC39sQjbm4JeJqgo8

日　時　８月 25 日（日）10:30～12:00　受付 10:15～

会　場　浦和コミュニティセンター　IT 研修室　　TEL 048-887-6565

さいたま市浦和区東高砂町 11-1　コムナーレ 10F（浦和パルコ内）
JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前　有料駐車場あり

参加費　麦会員（正会員・賛助・法人）無料　会場またはオンライン参加可

非会員　資料代 500 円　会場受付で支払い　会場のみオンライン不可

８月 18 日（日）までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。
WEB フォームから申し込みできない方は、
　メール　mugi.saitama89@gmail.com
　電 話　080-4125-6020
こちらにお問い合わせお願いします。
3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020 へ電話をお願いします。
参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用いたしません。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・
LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD （自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。
1989 年発足。
埼玉親の会「麦」
https://ld-mugi.sakura.ne.jp/

麦 INFORMATION　6月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙担当理事まで。

❁７月保護者＆家族おしゃべり会

日時：７月 29 日（月）10：30～12：00（受付 10：15～）
場所：さいたま市生涯学習総合センター 9F 学習室１
定員：15 名　麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料　入会希望者のお試し参加初回無料

❁７月施設見学会　麦会員限定（賛助・法人会員含む）非会員参加不可

日時：７月 29 日（月）13：30～14：30
場所：ココルポートカレッジ大宮キャンパス
定員：３名
※詳細はチラシ（10 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

❁８月進路例会「発達障害のある子の進路」

日時：８月 25 日（日）10：30～12：00（受付 10：15～）
場所：浦和コミュニティセンターIT 研修室
参加費：麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料　会場またはオンライン参加可
　　非会員　資料代 500 円　会場受付で支払い　会場のみオンライン不可
※詳細はチラシ（11 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。
※７月および８月の申し込み　　どちらもチラシ掲載の WEB フォームからお願いします。
WEB フォームから申し込みできない時は＜mugi.saitama89@gmail.com＞へご連絡ください。

❁９月保護者＆家族おしゃべり会

日時：９月 26 日（木）10：30～12：00（受付 10：15～）
場所：さいたま市生涯学習総合センター 9F 学習室１
定員：15 名　麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料　入会希望者のお試し参加初回無料
※内容・申込先など詳細は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

❁理事会（Zoom）のお知らせ

７月 19 日（金）、８月９日（金）　どちらも９：15～（遅刻早退可能）
理事会は、理事だけでなく正会員なら誰でも参加できます。理事会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。　mugi.saitama89@gmail.com

＊今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

～編集後記～ 2024 年度機関紙担当からのご挨拶

梅雨に入りました。今年も暑い夏になるようですね。体調に気をつけて、麦の活動、仕事、趣味が充実した日々になれると良いなぁ～
今年は理事２名、お手伝い２名の４名体制で機関紙制作をしていきます。よろしくお願いいたします。（Ａ・Ｙ）

また暑い夏がやってきました。毎年この時期は子どもとトマトやきゅうり、オクラなどの夏野菜を育てていますが、いつもちょっとしか実がなりません。なぜだろう…。（M・N）

機関紙に原稿を
お寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙６月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。
これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。

〈機関紙担当一同〉